

株式会社And Do ホールディングス 様

取締役会の全文記録にAI音声
認識を活用。担当者の業務負荷
を大幅軽減。



導入前の課題

- 取締役会の内容を全文書き起こす必要があり、担当者の業務負荷が過大
- オンライン会議の普及を契機に、AI音声認識による業務改善を検討

導入後の効果

- AIによる自動文字起こしで、担当者の時間的・精神的負担を大幅に軽減
- 議事録作成に気を取られることなく、会議運営に注力
- 総務部・経理部の会議や社内イベントにも利用を拡大

議事録作成担当者の負荷軽減が課題

And Doホールディングスでは毎月、定例の取締役会を開催しています。これまでは録音したデータを担当者が何度も聞き直しながら、一言一句漏らさず書き起こし、議事録を作成していました。取締役会の記録という非常に大切な業務である一方、担当者に大きな時間的・精神的負担がかかり、業務負荷の軽減と効率化が課題となっていました。

さらに昨今、オンラインでの開催が増えた

こともあり、業務改善を目的としたAI音声認識の導入を検討はじめました。

操作性と専門用語への対応力を評価

導入にあたり、複数のAI音声認識製品を試用し、比較・検討を行いました。文字起こししたデータを修正する際、該当箇所の音声のみ簡単に再生できる点が非常に便利だと感じ、「ScribeAssist」を選びました。また、会議では不動産から金融まで幅広い業種の専門用語を使用するため、任意の用語をAIに学習させられる単語登録機能も魅力的でした。

オンライン会議を中心に利用し、業務負荷を大幅軽減

「ScribeAssist」の導入で、議事録作成にかかる時間が大幅に削減されました。会議中も議事録に気を取られることなく運営作業に専念できています。また、一言一句漏らさず人力で書き起こす必要がなくなったことで、担当者の精神的負担も大きく軽減されました。専門用語の認識率も、使用回数を重ねるごとに上がっていると感じます。



▲ 総務人事部 三宅 毅 様

導入前は上手く運用できるか不安でしたが、難しい操作や設定も不要で、非常に役立っています。また、リアルタイムだけでなく録音済みの音声データも文字起こしできるため、過去の音声データの議事録作成作業にも活用しています。

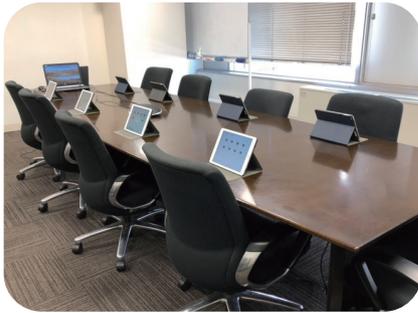
&DO HOLDINGS

株式会社And Do ホールディングス

サービス	ScribeAssist
業種	建設・不動産
利用シーン	Web会議、経営会議、セミナー・株主総会
導入	2020年12月

現在、会議は基本的にオンラインで実施し、個人PCのマイクや集合マイクで音声を収録しています。導入当初は取締役会などの重要な会議でのみ使用する予定でしたが、総務部や経理部でも利用するようになりました。

また、毎月実施する代表取締役から全社員へ向けた講話の文字起こしにも「ScribeAssist」を使用しています。リアルタイムで参加できなかった社員へ、映像と併せてQ&A集などを共有できるようになり、社内イベントにも役立っています。



▲ ScribeAssist を利用している様子

導入実績

2025年9月現在 / 議事録ソリューションの導入実績

民間企業・団体 **2040** 件以上

金融

- ・ オリエン特コーポレーション
- ・ オリックス生命保険
- ・ さわやか信用金庫
- ・ 湘南信用金庫
- ・ 大同生命保険
- ・ 東日本銀行
- ・ 福井信用金庫
- ・ みずほ銀行
- ・ 三井住友銀行
- ・ 明治安田生命保険相互会社
- ・ 横浜銀行
- ・ りそな銀行

化学

- ・ ポーラオルビス・ホールディングス
- ・ 三菱ガス化学
- ・ UBE

公共インフラ

- ・ NTTコミュニケーションズ
- ・ コスモエネルギーホールディングス
- ・ 四国電力
- ・ 全日本空輸
- ・ 東日本旅客鉄道

建設

- ・ 飛鳥建設

報道機関

- ・ 朝日新聞社
- ・ 仙台放送
- ・ 十勝毎日新聞
- ・ 日本金融通信社
- ・ 日本テレビ放送網
- ・ フジテレビジョン

医療

- ・ 会津中央病院
- ・ 稲沢市民病院
- ・ 日本赤十字社
- ・ 日本超音波医学会

JA

- ・ 全国共済農業協同組合連合会
- ・ 仙台農業協同組合
- ・ とびあ浜松農業御協同組合
- ・ 飛騨農業協同組合

中央省庁

- ・ 経産省
- ・ 財務省
- ・ 内閣府
- ・ 防衛省

その他

- ・ アスクル
- ・ And Do ホールディングス
- ・ セイコーグループ
- ・ 西武ホールディングス
- ・ 日本テレワーク協会
- ・ びあ
- ・ 本田技研工業
- ・ LIXIL

製品情報

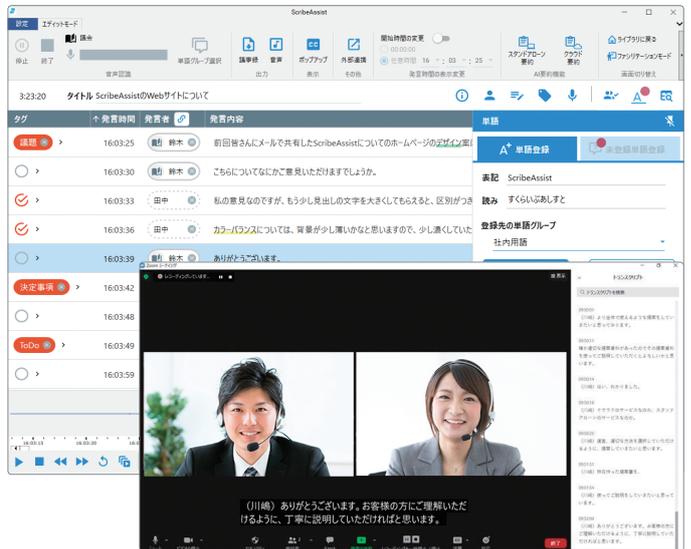


AI音声認識とAI要約で議事録作成を自動化します

ScribeAssist（スクライブアシスト）は、スタンドアローン型のAI議事録作成アプリケーション。インターネット接続なしで動作するため、機密性の高い会議でも安心して利用できます。

AI音声認識AmiVoice®で高精度に文字起こししたら、オフラインでも動作する生成AIが議事録形式に自動で要約。議事録作成の効率を大幅に向上します。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。



製品詳細ページはこちら



※アドバンスト・メディアは(財)日本情報処理開発協会により、個人情報を適切に取り扱っている事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。



(開発・発売元)

株式会社アドバンスト・メディア

VoXT（ボクスト）事業部

〒170-6042

東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

URL: <https://www.advanced-media.co.jp/>

Mail: voxt-info@advanced-media.co.jp